

令和5年度の産後ケアの利用実績は過去最高

～約 3.8 倍に利用者拡大！産後ケアを利用する方、増えています！～

【背景・現状等】

- 出産後の女性の30～50%は、産後数日から2週間頃にメンタルヘルス不調になるといわれており、産後における心身のケアは非常に重要です。(出典：公益社団法人日本産婦人科学会ホームページ)
- 国は、令和6年度末までに産後ケア事業の全国展開を目指すとしていますが、本県では、県民の皆様安心して子育ていただける環境づくりの一環として、全国に先駆けて令和3年度から全市町での実施を実現しています。

産後ケア事業とは？

母親とその子を対象に、助産師・保健師・看護師等が、母親の心身のサポート、育児のサポート、授乳のサポート等を行う事業です。本県では、令和2年度から、利用者負担の半額を助成しています。

【対象者】産後1年未満の産後ケアを必要とするすべての方

【サービスの種類】

ポイント

自身に合った方法でケアを受けられます

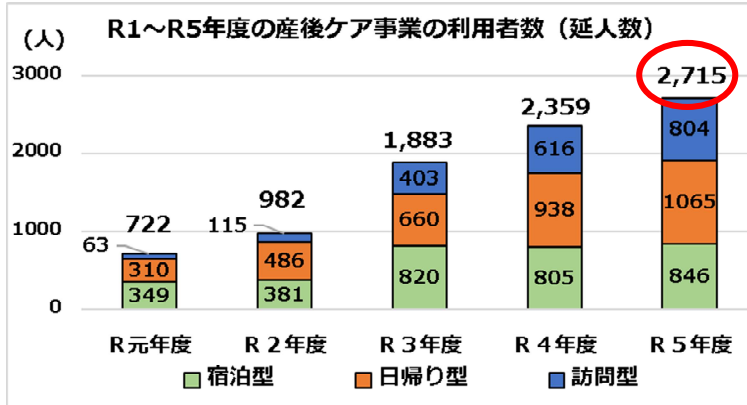
宿泊（ショートステイ）型	医療機関や助産所等に宿泊し、ケアを受けます。 24時間体制で助産師等の看護スタッフが待機しています。
日帰り（デイサービス）型	医療機関や助産所等に行き、ケアを受けます。 個別でケアを受ける場合と、グループでケアを受ける場合があります。
訪問（アウトリーチ）型	助産師等の専門スタッフが訪問し、自宅でケアを受けます。 生後間もない赤ちゃんとの外出に自信がない場合でも、自宅でケアを受けることができます。

※市町によって対象者やサービスの種類、利用料が異なる場合があります。詳細はお住まいの市町にお問い合わせください。

※産後ケア事業のほか、産前・産後サポート事業やヘルパー派遣等による妊産婦支援に取り組んでいる市町もあります。

利用実績

産後ケア事業の利用者数（延人数）は、年々増加しています。



ポイント

5年間で延利用者数は約3.8倍！
訪問型の割合が増えています



利用した方の声

- 育児と家事の両立は大変で戸惑うばかりだったので、気軽にサポートをお願いでき、とてもありがたかった。
- 授乳について悩んでおり、授乳時間が苦痛だったが、アドバイスしてもらったことでスムーズに授乳できるようになり、授乳時間が楽になった。
- 心も体もゆっくり穏やかに過ごせ、心身ともに回復した。産後の一番しんどい時期を支えてもらい、とても心強かった。多くの産後のお母さんに産後ケアを利用してほしいと思う。
- 初めて産後ケアを利用するときは抵抗があったが、サポートしてもらえる場所があると思えるようになり、気持ちが楽になった。利用後、自宅での育児に自信がもてるようになった。

産後ケア事業について詳しく知りたい場合は…

広島県ホームページに、各市町の産後ケア事業のホームページのリンク及び窓口を掲載しています。



▲広島県ホームページ（産後ケア）